

# 平成28年度 事業報告書

(平成28年4月～平成29年3月)

## 【公益事業①】

公益事業①については「ドナルド・キーン・センター柏崎」の運営に関わる諸事業で主のものは次のとおりです。

### 1. 入館状況

開館日	入館者数	大人	中高生	小学生	入館料収益
251日	2,734人	2,698人	21人	33人	1,093,200円

### 2. 展示活動

#### (1) 特別企画展 「写真で綴るドナルド・キーンのあゆみ」

平成28年3月10日(木)～平成28年8月7日(日)

期間中(4/1～8/7) 見学者数 1,124人(1日当10.1人)

ドナルド・キーン先生の「人となり」「作家との交流」「研究活動」を幼少期から今に至るまでの写真を通して、わかりやすく、親しみやすく紹介しました。日本各地での講演の様子や世界各地への旅行、家事や取材、執筆といった私生活の写真も紹介しました。

また、先生が普段使用されている買い物カゴ、ボストンバックも展示いたしました。

写真を中心にした展示としたことから、内容が分かりやすく、キーン先生を身近に感じることができた。という見学者の声寄せられました。今回の展示作業においては、日頃運営をお手伝いいただいているボランティアの皆様にもキーン先生のお写真を和紙に貼って頂く等のお手伝いをして頂きました。

#### (2) 特別企画展 「ドナルド・キーン 石川啄木の日記を読み解く～最初の現代日本人～」展

平成28年8月11日(木)～平成28年12月25日(日)

期間中(8/11～12/25) 見学者数 1,417人(1日当11.7人)

ドナルド・キーン先生は、2014年(平成26年)7月から16回にわたって評伝「石川啄木」を文芸誌『新潮』に連載。そして、2016年(平成28年)2月に『石川啄木』を新潮社から出版しました。1954年(昭和29年)に石川啄木の『ローマ字日記』に出会って以来、ドナルド・キーンにとって石川啄木は重要な研究テーマになり、「最初の現代日本人」と評しています。その意味を『ローマ字日記』を含む啄木の日記を通して読み解いていく展示としました。

#### (3) 企画展 「ドナルド・キーンに宿った「センセイ」～恩師、角田柳作の志」展

平成29年3月10日(金)～平成29年8月6日(日)

ドナルド・キーンと「センセイ」角田柳作の出会いは1941年(昭和16年)9月、コロンビア大学の「日本思想史」の教室でした。この邂逅は日本文化、日本文学が世界に羽ばたく始まりでした。情熱のこもった魅力的な講義で多くの日本研究者を育て、日本の文化を紹介する「日本文庫」を設立し、コロンビア大学で『日本学』の礎を築いた角田柳作。その教えを受けて日本の文化や文学を世界に広めたドナルド・キーン。師、角田柳作からドナルド・キーンへ受け継がれたその「志」を探る企画展です。

### 3. 普及活動

本年度においては、当初の事業計画にて、特別企画展に関する「ミニ講演会」を5月、8月、10月と開催するとしておりましたが、後期特別企画展及び開館三周年記念講演会の準備に時間を費やしてしまい実施することができませんでした。

開館三周年記念講演会については「ドナルド・キーン・センター開館三周年記念 特別講演会」として開催。昨年のような大規模な雑誌媒体とのコラボレーションはできませんでしたが、柏崎市内の産学官のご協力により、約900人のお客様をお迎えすることができました。

地域との連携については、昨年同様、当センターの地域密着と幅広い世代に親しんでもらう事を目的に、観光分野、教育分野、地域サークル等との連携を図りました。

ボランティア協力活動については、センターの運営を支えていただく大きな、太い柱になっております。ボランティア主催の勉強会やお茶会の実施、さらに昨年からはじめた地元のサークルの皆様による作品展（ロビー展）を定期的で開催することで、ボランティア組織の質的向上、地域密着そして口コミによる集客効果に繋がっております。

#### (1) 講座・講演会等

##### ① ドナルド・キーン・センター柏崎開館三周年記念特別講演会

ドナルド・キーン・センター柏崎の開館三周年を記念し、キーン先生をお招きしての講演会を開催いたしました。今回の講演会は、開催中の特別企画展にあわせ、「ドナルド・キーン 石川啄木の日記を読み解く～最初の現代日本人～」と題して開催。上越市出身で国際啄木学会会長の池田功先生（明治大学大学院教授）による基調講演「石川啄木の日記を読む～キーン先生の啄木日記論を紹介しながら～」、キーン先生と池田先生による特別対談「石川啄木～最初の現代日本人～」そして市民ボランティア合唱団による啄木が作詞した楽曲「春まだ浅く」「盛岡市立渋民小学校校歌」の合唱等盛りだくさんの内容を提供し、お客様にご満足頂きました。

なお、今年度も、キーン先生の東日本大震災での原発被災地に対する「福島県を忘れない」というお気持ちを受けて、財団から福島県双葉郡双葉町、楡葉町、富岡町、大熊町に対して、キーン先生の著書及びご推薦図書をお贈りすることを発表いたしました。講演会終了後には、キーン先生のサイン会を開催しました。

平成28年9月19日（月：祝日）会場：柏崎市文化開館アルフォーレ（大ホール）

基調講演：池田 功先生（国際啄木学会会長・明治大学大学院教授）

「石川啄木の日記を読む」～キーン先生の啄木日記論を紹介しながら～

記念対談：ドナルド・キーン先生、池田 功先生

「石川啄木～最初の現代日本人～」

合唱：「春まだ浅く」「盛岡市立渋民小学校校歌」

エンディングにキーン先生へのサプライズとして、ご来場の皆様全員での「荒城の月」を合唱。

総入場者：816名/定員（1,100名）

一般（チケット販売）598名

来賓・ご招待者 110名（来賓・ご協力者・賛助会員）

合唱団 108名

##### ② ミニ講演会

オペラ講座「カルメン」

平成28年10月26日（水） 会場：ドナルド・キーン・センター柏崎大型映像ホール

講師：馬場明成氏（柏崎出身オペラ歌手）

参加人数：38名

キーン先生が17歳の時、初めて見たオペラの舞台が『カルメン』でした。キーン先生とのつながりを紹介しながら、キーン先生が愛してやまないオペラの素晴らしさを味わって頂きました。

#### 講演会「アメリカの大学生が演じる『忠臣蔵』～舞台裏と公演の秘話～」

平成28年12月22日(木) 会場：新潟産業大学A111教室

講師：ローレンス・コミンズ氏（ポートランド州立大学教授）

参加人数：150名

キーン先生の薫陶を受けたコミンズ教授が、アメリカ人の学生とともに、仇討の精神をどのように作り上げたのか。その時の様子を実演と映像を交えて紹介しました。

#### 企画展関連講演会 ドナルド・キーンの恩師、角田柳作 「センセイ」の青春

平成29年3月10日（金）会場：新潟産業大学

講師：島内景二氏（電気通信大学教授）

参加人数：70名

ドナルド・キーンの「センセイ」である角田柳作から伝授された文明批評の意義等がどのように作り上げられたのかを角田柳作の青春期を通して、紹介しました。

### (2) 地域との連携事業

- ①観光ちよっ得タクシー（柏崎市観光課、柏崎市観光協会）への協力  
柏崎駅を拠点にした二次交通整備の一環として利用者の利便性を図る。  
対象区間：柏崎駅⇄ドナルド・キーン・センター柏崎  
期 間：3月10日～12月25日 負担金：18,750円  
利用状況：12月25日現在 柏崎駅→キーンセンター 52枚  
キーンセンター→柏崎駅 74枚
- ②柏崎畦道短歌会への協力  
6/11 柏崎市内の短歌サークル「畦道短歌会」の定例会開催に協力  
会場：大型映像ホール 参加者：8名
- ③柏崎市教育センター主催 特別講習会への協力  
8/2 教育センター主催の市内小中学校教職員向けの勉強会の開催に協力。参加者15名
- ④ドナルド・キーン of 著作を読む会への協力  
8/6 柏崎のドナルド・キーン of 著作を読む会の朗読会に協力  
朗読会「ドナルド・キーン of 著作集第10巻」の一部から  
会場：大型映像ホール 参加者：30名
- ⑤新潟ルネッサンスの会への協力  
学芸員：大西慶 朗読会におけるドナルド・キーン of クロニクル解説  
会場：東京都北区中央図書館

### (3) 協力ボランティア事業

- ①お茶会の開催 2回

5/29「名残の会」

会場：ブルボン統合研修センター大ホール

参加人数：102名

お茶会参加者のうち、センター見学者数

18名

10/30「悠悠茶会」

会場：ブルボン統合研修センター大ホール

参加人数：130名

お茶会参加者のうち、センター見学者数

21名

②勉強会の開催 9回

4/27「日本文学の歴史」講師：中津義人

参加人数：18名

5/20「石川啄木を読み解く会」講師：学芸員大西慶

参加人数：25名

6/17「石川啄木を読み解く会」講師：学芸員大西慶

参加人数：25名

7/ 8「三島由紀夫の自決、川端康成の自殺、ノーベル賞」

講師：中津義人

参加人数：19名

7/22「石川啄木を読み解く会」講師：学芸員大西慶

参加人数：16名

8/23「石川啄木を読み解く会」講師：学芸員大西慶

参加人数：15名

9/ 7「日本文学を読むの連載 音楽評論家デビュー」講師：中津義人

参加人数：13名

10/13「クロニクル編1980年代の仕事」講師：中津義人

参加人数：12名

10/23「石川啄木を読み解く会」講師：学芸員：大西慶

参加人数：10名

11/ 8「ドナルド・キーン クロニクル編」講師：中津義人

参加人数：16名

11/24「石川啄木を読み解く会」講師：学芸員：大西慶

参加人数：15名

12/ 9「石川啄木を読み解く会」講師：学芸員：大西慶

参加人数：15名

12/20「ドナルド・キーン クロニクル編」講師：中津義人

参加人数：18名

③ロビー展の開催 5回

4月 「折り紙とちりめんの雛人形」展

6月 「仮名書」展

7月 「草生水」展

8月 「綾子舞」展

10月 「石黒の昔の祝言」展

3月 「テディベア」展

④ボランティア平成29年スタートの集い

3/15、21、27の3日間にて、ボランティア新組織及び活動内容の説明、キーンセンターの平成29年度イベント計画を説明。

(4) 他機関への事業協力

①出張展示（巡回展）～当センターの特別企画展にて製作した展示用パネル・資料を貸出し。

図書館流通センターとの協力事業

特別企画展「太平洋戦争とドナルド・キーン」展

・8/ 9～9/ 4 埼玉県鶴ヶ島市立中央図書館

・9/13～9/22 栃木県高根沢町立図書館

・9/27～10/4 茨城県筑西市立図書館

・10/18～10/23 日光市立今市図書館

・2/21～3/20 東京都文京区小石川図書館

特別企画展「写真で綴るドナルド・キーンのあゆみ」展

- ・ 10/4～11/23 東京都北区立中央図書館  
特別企画展「ドナルド・キーン石川啄木の日記を読み解く～最初の現代日本人～」展
- ・ 1/7～1/22 北海道市立釧路図書館
- ・ 2/7～3/30 東京都北区中央図書館

#### ②出張講座

出張展示の内容について、当センターから講師を派遣し、その展示についての理解度を深める。

- ・ 11/20 日光市立今市図書館 講師：中津義人（副館長）「ドナルド・キーンと日記」
- ・ 3/18 東京都文京区小石川図書館 講師：中津義人（副館長）「ドナルド・キーンと日記」

#### ③大正大学地域創生学部 「地域社会について学ぶ」授業への協力

上記の活動に対し、財団の主催事業である記念講演会の実行委員会及び合唱への参加を提案し、参加学生（6名）と地域との連携を結びつけました。

### 4. 教育活動

本年度のドナルド・キーン・センター柏崎の運営事業に関連した教育活動は以下の内容です。

#### ①新潟産業大学「地域振興論」見学への協力

10/15 柏崎市内の新潟産業大学「地域振興論」受講学生の見学会 31名

#### ②敬和学園高等学校での「出前授業」の実施

10/27 上記高校にて使用している英語教科書「Provision II」にキーン先生が登場していることから、教科書にあわせる形で、キーン先生クロニクルについて出前授業を行いました。

### 5. 書籍の寄贈

昨年同様に、記念講演会の中で、東日本大震災での原発被災地に対し、キーン先生の「福島を忘れない。」というメッセージを受けて、福島県双葉郡双葉町、同郡楢葉町、同郡富岡町。同郡大熊町に対して、講演会の収益の一部から、キーン先生の著作及びご推薦図書を寄贈いたしました。

（寄贈内容）

『ドナルド・キーン著作集 第13巻 明治天皇（中）』ドナルド・キーン著 新潮社

『ドナルド・キーン著作集 第14巻 明治天皇（下）』ドナルド・キーン著 新潮社

『石川啄木』ドナルド・キーン著 角地幸男訳 新潮社

『啄木日記を読む』池田 功著 新日本出版社

『黄犬ダイアリー』ドナルド・キーン、キーン誠己著 平凡社

上記、5冊を各1冊ずつ寄贈いたしました。（費用計上 支払寄付金：50,112円）

### 6. 広告・広報活動

展示、普及事業の告知及び取材、広告出稿を行いました。

#### ①広報活動

- ・ 特別企画展ポスター、チラシの作成と配布 平成28年7月・平成29年2月各1回＝2回
- ・ 普及事業のチラシの作成と配布 1回
- ・ ホームページの更新 15回
- ・ 広報かしわざき「キーンコレクション」コーナー連載 毎月5日号に掲載 12回
- ・ 新聞、雑誌掲載件数 63件
- ・ テレビ・ラジオ情報 4件

#### ②広告活動

- ・ 柏崎コミュニティー放送 52回
- 「柏崎発信！ドナルド・キーンの世界」平成26年7/25～毎週金曜日13：30～10分間
- ・ BSN他信越・北陸4県TV局ホームページ「夏/秋のおでかけガイド」への掲載
- ・ 広告掲載 BSNラジオ 3月～11月  
3月～再開  
新聞・雑誌 13回

以上

## 【公益事業②】

公益事業②については、教育及び文化・芸術・体育等の振興に関する助成・協賛を行い、広く教養の向上及び心身の健全な発展に寄与することを目的に、「奨学金の貸与」「文化芸能・スポーツ振興に対する助成事業」を実施しております。

### (1) 奨学金の貸与

人員(2月末現在)	4月～3月貸与額	4月～3月返還額
4年生以上 20名(20,000円)	合計	93名
1～3年生 68名(30,000円)	29,670,000円	15,668,800円

- ・ 4/15 合格者24名に対し、採用通知書を発送  
卒業生15名に対し、返還のしおり・奨学金借用証書等を発送
- ・ 4/18 2～4年生66名に対し、継続願書等を発送
- ・ 9/15 奨学生2年生1名退学の連絡
- ・ 10/15 奨学生募集地域を従来の新潟県と山形県庄内地域から新潟県と山形県全県に拡大することについて書面決議にて承認。  
新潟県109校・山形県71校＝180校
- ・ 10/16 対象地域の学校長宛に、平成29年度（第41回）奨学生募集要項を発送。
- ・ 11/4 奨学生1年生1名休学の連絡
- ・ 12/31 平成29年度応募締切 応募者 18名（応募校数15校）
- ・ 2/9 平成29年度奨学生選考委員会開催  
場所：ドナルド・キーン・センター柏崎2階和室  
出席：選考委員 藤井泰昭柏崎高校長、本田雄二巻高校長  
渡辺恒弘理事、相澤陽一理事  
結果：17名（選考委員会前に1名辞退）を第一次合格者とした。  
第一次合格者通知発送。
- ・ 3/12 平成28年度第3回理事会にて、平成30年度より募集対象地域を、新潟県・山形県に加えて長野県と福島県にまで拡大することが決定。
- ・ 3/31 第二次合格者決定 結果12名

### (2) 文化芸能・スポーツ振興に対する助成事業

- ・ 4/20 財団HPにて「平成28年度文化・スポーツ助成事業」募集要項を掲載
- ・ 5/23 第1回理事会にてスポーツ振興助成事業について1件選考  
助成対象事業：団体名 新潟県カーリング協会  
事業名 第11回柏崎カーリングオープン大会  
兼第2回新潟県カーリングオープン大会

助成金 100,000円

文化芸術振興助成事業については、該当なしとして、継続公募とした。

- ・ 6/3 柏崎市綾子舞保存振興会より 助成金交付申請書が提出  
助成対象事業：団体名 柏崎市綾子舞保存振興会  
事業名 綾子舞国指定40周年記念事業と平成28年度  
現地公開  
助成金申請額：100,000円
- ・ 6/10 新潟県カーリング協会に対し、交付決定通知書を送付
- ・ 6/15 新潟県カーリング協会より請求書到着
- ・ 6/25 柏崎市綾子舞保人振興会からの申請に対して、書面決議にて承認
- ・ 7/7 柏崎市綾子舞保人振興会に対し、交付決定通知書を送付
- ・ 9/30 新潟県カーリング協会に対し、助成金を交付
- ・ 10/21 柏崎市綾子舞保存振興会より請求書到着
- ・ 10/31 柏崎市綾子舞保存振興会に対し、助成金を交付
- ・ 12/1 柏崎市綾子舞保存振興会より「事業実施報告書」提出
- ・ 12/5 新潟県カーリング協会より「実施報告書」提出
- ・ 3/20 財団HPにて「平成29年度文化・スポーツ助成事業」募集要項を掲載

以上

【収益事業】

収益事業は「ドナルド・キーン・センター柏崎」でのオリジナルグッズ販売事業です。

- (1) 4月～3月末現在の売上実績 2,466,480円  
買上人数 611人  
購入者1人当単価 4,030円

以上

【財団の運営に資する主な活動の報告】

(1) 主要な会議

① 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会 議 の 結 果
第1回理事会 平成28年5月23日 新潟県柏崎市諏訪町 10-17 ブルボン統合研修 センター大ホール	第1号議案 平成27年度事業報告、貸借対照表、 正味財産増減計算書、附属明細書、財産 目録承認の件 第2号議案 特定資産取崩しの承認の件 第3号議案 公益事業2 文化スポーツ振興助成 事業選考の件  第4号議案 監事候補者1名選定の件 第5号議案 財団が所有する株式の議決権行使に 関する件 第6号議案 定時評議員会招集の承認の件	原案のとおり承認されました。  原案のとおり承認されました。  スポーツ振興助成事業については新潟 県カーリング協会が選考され、文化芸術 振興事業については公募続となりました。  原案のとおり立神剛氏が選定されまし た。 深田隆宣理事に一任することが承認さ れました。  原案のとおり承認されました。



<p>理事会 書面決議 平成 28 年 6 月 25 日</p>	<p>その他報告相談事項に関する件 (1)平成 28 年開館 3 周年記念講演会概要 (2)平成 28 年度後期特別企画展概要 (3)他団体主催事業への「後援」について</p> <p>議案 文化芸術振興活動への助成事業の選考の件</p>	<p>事務局より報告を受けました。</p> <p>提案のとおり承認されました。</p>
<p>平成 28 年 10 月 15 日</p>	<p>議案 奨学生募集対象地域の山形県全域への拡大の件</p>	<p>提案のとおり承認されました。</p>
<p>第 2 回理事会 平成 28 年 11 月 14 日</p>	<p>第 1 号議案 「越後國柏崎 弘知法印御伝記」ロンドン公演への協力及び実行委員会への参加の承認の件 第 2 号議案 平成 29 年度後期特別企画展開催計画の承認の件 第 3 号議案 学芸員大西慶氏の北海道大学大学院の履修及び一部旅費補助の承認の件</p>	<p>財団からの資金拠出がない前提にて承認されました。</p> <p>原案のとおり承認されました。</p>
<p>第 3 回理事会 平成 29 年 3 月 12 日</p>	<p>その他報告事項に関する件 (1)平成 28 年度上期事業報告、資金使用状況報告の件 (2)11 月以降イベント計画広告の件 (3)業務委託・顧問契約先一覧の報告の件 (4)職員動向の報告の件 (5)平成 28 年度第 3 回理事会以降の日程報告の件</p>	<p>事務局より報告を受けました。</p>
<p>第 1 号議案 平成 29 年度事業計画案承認の件 第 2 号議案 平成 29 年度収支予算書案承認の件 第 3 号議案 平成 30 年度奨学生募集対象地域拡大の承認の件 その他報告に関する件 (1)平成 28 年度事業報告、資金使用状況報告の件 (2)平成 29 年度奨学生第一次合格者報告の件 (3)文化・体育等の振興活動への助成金公募の件 (4)平成 29 年度理事会・評議員会開催日程の件</p>	<p>事務局より報告を受けました。</p>	<p>原案のとおり承認されました。</p> <p>原案のとおり承認されました。</p> <p>原案のとおり承認されました。</p> <p>事務局より報告を受けました。</p>

② 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会 議 の 結 果
<p>平成 28 年度 定時評議員会 平成 28 年 6 月 11 日 新潟県柏崎市諏訪町 10-17</p>	<p>第 1 号議案 平成 27 年度貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）および財産目録承認の件 第 2 号議案</p>	<p>原案のとおり承認されました。</p> <p>原案のとおり承認されました。</p>

ブルボン統合研修 センター大ホール	監事1名選任の件 報告事項に関する件 (1)平成27年度事業報告の件 (2)平成28年度事業計画の件	理事会にて承認された事項について 事務局より、報告がありました。
----------------------	---	-------------------------------------

### ③ 奨学生選考委員会

開催年月日	議 事 事 項	会 議 の 結 果
平成28年4月10日	1次選考合格および補欠で進学が決定した 全員を採用することとし、大学生24名につ いて文書により選考委員に報告いたしまし た。	・第40回奨学生採用決定 大学生24名
平成29年2月9日	第一次合格者の選定	・第41回奨学生第一次合格者決定 17名

#### (2) 組織に関する報告

- ・平成28年 3月31日付 奨学生選考委員上野順治柏崎高校校長退任
- ・平成28年 4月 1日付 藤井泰昭柏崎高校校長に奨学生選考委員就任受諾
- ・平成28年 6月30日付 内閣府へ事業報告等に係る提出書を電子申請
- ・平成28年 7月16日付 内閣府へ監事1名交代の「変更届」を電子申請
- ・平成28年 9月16日付 パート事務員1名を正職員に登用
- ・平成28年 9月19日付 パート事務員1名退職
- ・平成29年 1月16日付 パート事務員1名採用
- ・平成29年 3月25日付 パート事務員1名退職

#### (3) 賛助会員・寄付金状況

賛助会員（法人）	72社	6,200,000円
賛助会員（個人）	66人	162,000円
寄付金	3人	80,000円

\*上記の寄付金は、「正味財産増減計算書」内の「受取寄付金」に含まれます。

以上

# 平成28年度奨学事業に関する事業報告書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

## 1. 事業の概要

(1) 平成28年4月進学(第40回)奨学生採用決定(平成28年4月12日)

対象者	採用計画	採用決定
大学生	25名	24名

(2) 奨学金貸与(4月15日から貸与開始、第40回奨学生へ5月初旬に4・5月2か月分開始)

9/15付 2年生1名退学 (90名→89名)

11/15付 1年生1名休学 (89名→88名)

対象者	人数	1名当り貸与額		当年度貸与額
大学生	88名 (1・2・3年生68名) (4年生20名)	1・2・3年生 月額30,000円	年額360,000円	29,670,000円
		4年生 月額20,000円	年額240,000円	

(3) 平成29年4月進学(第41回)奨学生募集

① 募集計画数 大学生 25名

② 募集活動

- ・対象校 高等学校180校(新潟県109校、山形県71校)
- ・募集要項発送 10月16日
- ・応募締切 12月25日

③ 出願者および選考(第1次選考委員会、平成29年2月9日)

対象者	採用計画	出願者	1次合格	採用決定
大学生	25名	17名	17名	12名

第1次合格で進学決定者全員を採用することとして、選考委員に書面にて報告いたしました(平成29年4月20日)。

平成29年4月進学（41回）奨学生採用者名簿（12名）

奨学生 番号	性別	進学大学（学部もしくは学科）
518	男	専修大学商学部
519	男	新潟薬科大学応用生命科学部
520	女	新潟医療福祉大学医療技術学部
521	男	新潟薬科大学応用生命科学部
522	女	金沢大学人間社会学域人文学類
523	男	新潟医療福祉大学医療技術学部
524	男	駒澤大学経済学部
525	女	明治大学政治経済学部
526	女	順天堂大学スポーツ健康科学部
527	女	新潟国際情報大学国際学部
528	男	埼玉工業大学人間社会学部
529	女	首都大学東京都市教養学部

奨学生採用実績および次年度採用案

	第34回 22/4	第35回 23/4	第36回 24/4	第37回 25/4	第38回 26/4	第39回 27/4	第40回 28/4	第41回 29/4	第42回 予定
大学生	16名	20名	20名	20名	25名	21名	24名	12名	25名

奨学生在学者数

年 度	大学生	年 度	大学生	年 度	大学生	年 度	大学生
平 18 年度	54名	平 21 年度	55名	平 24 年度	70名	平 27 年度	84名
平 19 年度	53名	平 22 年度	59名	平 25 年度	77名	平 28 年度	88名
平 20 年度	52名	平 23 年度	65名	平 26 年度	84名	平 29 年度	80名

卒業生数（平成29年3月卒業まで）

大 学	434名（うち中途辞退者等15名）
高 専	13名（うち中途辞退者等1名）
合 計	447名（うち中途辞退者等16名）

卒業生就職状況（中途辞退者を含む）

単位 名

	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	計	比 率
建 設 業						1	1			2	1.5%
製 造 業	1		2	1	2	1	1	1	2	11	8.0
公 務 ・ 団 体	1		1	2	1	1	4	2		12	8.7
教 職 員	1	1		1	1		1		2	7	5.1
金 融 ・ 保 険 ・ 証 券			2		2			4		8	5.8
運 輸 ・ 通 信							3	1	1	5	3.6
電 力 ・ ガ ス										0	0.0
卸 売 ・ 小 売 業	1				4	1	1	1	1	9	6.5
医 療 ・ 福 祉		1	3	2		3	2	2	3	16	11.7
そ の 他	5	5	4	6	2	2	3	3	4	34	24.8
進 学 等	3	3	2	1	1	3	1		2	16	11.6
不 詳 ・ 死 亡	1	2		2	1	3	4	4		17	12.4
計	13	12	14	15	14	15	21	18	13	137	100.0

平成28年度（28/4～29/3）奨学金貸付および返還状況

		人数	27年度3月末 貸付残高	当年度貸付	当年度返還	28年度3月末 貸付残高
貸 与 終 了 者 ①	12/3卒	2	749,000	0	0	749,000
	14/3卒	1	192,262	0	96,000	96,262
	15/3卒	2	960,000	0	0	960,000
	16/3卒	3	906,000	0	96,000	810,000
	17/3卒	3	120,000	0	120,000	0
	18/3卒	5	1,646,000	0	256,000	1,390,000
	19/3卒	7	2,762,000	0	680,000	2,082,000
	20/3卒	11	3,748,000	0	1,156,000	2,592,000
	21/3卒	6	1,054,000	0	666,000	388,000
	22/3卒	5	2,540,000	0	414,000	2,126,000
	23/3卒	10	6,336,000	0	1,200,000	5,136,000
	24/3卒	13	8,214,000	0	1,696,000	6,518,000
	25/3卒	13	7,714,000	0	1,578,000	6,136,000
	26/3卒	13	10,542,000	0	2,614,800	7,927,200
	27/3卒	19	18,520,000	0	1,956,000	16,564,000
	① 28/3卒	18	17,280,000	0	3,140,000	14,140,000
	小計	128	83,283,262	0	15,668,800	67,614,462
	第37回	20	14,400,000	4,800,000	0	19,200,000
	第38回	25	18,000,000	9,000,000	0	27,000,000
	第39回	20	7,560,000	7,380,000	0	14,940,000
第40回	23	0	8,490,000	0	8,490,000	
小計	88	39,960,000	29,670,000	0	69,630,000	
合計	216	123,243,262	29,670,000	15,668,800	137,244,462	

(注) ①貸与終了者には中途辞退者を含み、返還完了者は除いてあります。

②第39回生 平28年9月15日付で1名退学により貸与終了(21名→20名)

第40回生 平28年11月15日付で1名休学により貸与中止(24名→23名)